

保護者様

松戸市立高木小学校
校長 小林 幸一

令和5年度 教育活動アンケートのまとめ

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年12月に保護者や児童、地域の皆様を対象に実施した学校アンケートの集計ができましたので、下記のとおり報告いたします。お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございます。

今後も、保護者や地域の皆様と連携を深めながら、子どもたちを健やかに育てていきたいと考えます。教職員一同、力を合わせて令和6年度の学校運営の充実を目指してまいります。

記

1 保護者アンケートの結果から

- 肯定的な評価がほとんどで、どの項目も9割前後の高い評価となっている。昨年度の評価が高かったため満足度は若干下がっている項目が見られるが、一昨年度と比べると依然として高い評価をいただいている。
- 「子どもたちには、あいさつや謝罪の言葉等、基本的な言葉遣いが身についていると思いますか」は、約5%上がった。児童会によるあいさつ運動など、意識してあいさつを行っていることが肯定的な評価の維持につながっていると考えられる。
- 施設設備や通学路の安全面については、日頃から安全点検をし、学校と保護者、地域が協力したり、児童への安全指導をしたりして、安全確保に努めていく必要がある。
- 「家庭は、行事・PTA活動等に進んで参加するように努めている」が、過去3年間で65%→89%→69.4%と変化が大きい。昨年度は、コロナ禍が明け、一昨年度より行事も増え、学校に来る機会が増えたことで、評価が大きく上がったと考えられる。また、現在PTAの執行部は、保護者に負担がかからないよう、PTAの活動を縮小する方向で進めているため、参加する機会が減ったことから、評価が下がったと考えられる。授業参観などの学校行事への参加は高い数値を示している。

2 児童のアンケートの結果から

- ほとんどの項目において、肯定的な割合が高い。特に高かったのは「そうじや係の仕事をしっかりやっていますか」で、100%であった。この項目は、ここ3年では98.8%→99.4%→100%と、自己評価が最も高い項目となっている。要因として、高木小は、委員会や学級の係活動で一人一人に対してしっかり仕事が割り当てられて活動していることや活動の振り返りをして、自分ができたこと再確認していることが考えられる。
- 全体的に見ると、ここ数年、同じような割合となっている。85%の児童が、肯定的な気持ちを持っている一方、数名でもそうではない児童がいるということを念頭に置いて、全ての児童にとって学校が楽しい場となるよう努めなければならない。

3 地域の方からの評価

- 肯定的な評価の平均が93.9%であった。制限なく、行事ができるようになったことで、昨年度以上に来校していただく機会が増えたことが評価につながっていると考えられる。また、昨年度同様HPの充実などが評価につながったと考えられる。しかし「わからない」という回答がいくつかあり、地域の方にはまだ、学校の様子が見えない部分があるといえる。今後も、工夫しながら開かれた学校を目指していく。

※学校ホームページに調査結果を掲載しますので、ご覧ください。